

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成 29年 12月 25日
発信課	市民生活課(消費生活センター)
担当者	大塚
連絡先	電 話 内線 80-2651
	FAX
	E-mail syo510@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	その他
日 程	月 日 ~ 月 日
発表項目 (行事名)	平成29年度 年末年始の市況と概況について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	平成29年度年末年始の生鮮食料品等の市況と概況について、旭川三市場連絡協議会から資料提供頂きましたので、別紙のとおりお知らせします。
添付資料	有 ・年末年始の市況と概況 ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に 当たってのお願い	
備 考	

平成29年度 年末年始の市況と概況

平成29年12月20日

旭川三市場連絡協議会

丸果旭川青果卸売市場株式会社(青果資料作成)

TEL:48-3231

株式会社キョクイチ(水産資料作成)

TEL:48-3141

株式会社一印旭川魚卸売市場(事務局)

TEL:48-3161

平成29年度 [鮮魚品の概況]

鮮魚担当：(株)キョクイチ 水産1部 部長 今成英臣

天候等により、市況変動しやすい時期になります。冷鉢まぐろ・帆立・うに・カニなど 全般的には、昨年同様に入荷量は減少で市況は、高値傾向で推移しています。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
本まぐろ	地中海・北大西洋・九州	増	並	k 8,000～6,000～4,000	生鮮・冷凍物共に入荷あり、市況は前年より多めで推移。生鮮は国内物が中心で、地中海物は入荷減。
鉢まぐろ	太平洋・インド洋	減	高い	k 3,500～2,500～2,000	冷凍物は、入荷減の高値で推移。(前年相場の1割高値)
黄肌まぐろ	太平洋・インド洋	減	高い	k 3,500～2,000	冷凍物は、入荷減で高値で推移。(前年相場の1割高値)
たこ	雄武・枝幸・宗谷	増	高い	足 k 1,500～1,300 頭 k 1,000～700	入荷減、前年相場より1割～2割高値で推移。
はまち	九州・四国	並	高い	k 2,000～1,900	養殖物は入荷安定、前年相場より2割高値。
帆立(生玉)	野付・標津	減	高い	大 k 5,000～小 4,000	野付・噴火湾中心。高値相場で継続。オホーツク海漁が始まれば相場安定。
タラバガニ	ロシア	激減	高い	k 9,000～7,000	ロシア産の入荷は激減、高値で推移。
毛ガニ	北海道(道東)	減	高い	k 10,000～8,000	ロシア産の入荷はほぼ無し。近海は高値の見込み。(前年より1割アップ)
うに	(輸入)ロシア (地物)根室・北方物	減	高い	一折(100g) 5,000～3,000	道東、ロシアが中心。水揚げにより変動価格。入荷減で高値で推移。
タラバガニ	道東・ラウス・日本海	減	並	k 1,300～1,000 (フィーレ)	入荷減、不安定な市況。年末はフィーレ中心で冷凍品は、減少傾向。
キンキ	ラウス・斜里・網走・根室 冷凍：ラウス・ロシア	減	高い	k 7,000～4,000 生 k 6,000～5,000 冷凍	釣物は高値で、刺網物も水揚げにより価格変動が激しい。冷凍物、近海水揚げが少なく高値。
北寄貝	苫小牧・野付・白糠	減	高い	k 1,300～900	ここ数年水揚げ不安定、変動相場。大型少なく、小型中心。
かき貝	厚岸・サロマ	並	並	k 6,000～2,500	入荷、相場共に前年並みで推移。
鯛	四国・九州	並	高い	養殖 k 1,700～1,500	養殖物が中心で入荷安定。前年相場より2割高値。

平成29年度 [塩干・冷凍品の概況]

担当：(株)キョクイチ 水産4部 部長 宗万孝行

全体的に入荷量は減少しており、新巻鮭・紅鮭・いくら・帆立・カニ等、市況も高値で推移しています。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
新巻鮭	雄武・根室・釧路	減	高い	k1,600~1,400~800	水揚げ3割減で価格は、高高値で推移、サイズは大型中心。
塩紅鮭	ロシア	減	高い	k2,500~2,200~1,900	流網漁の漁獲規制の影響で高値。
塩数の子	カナダ・アラスカ・ロシア	並	並	k8,000~4,000~2,500	中小サイズ中心で多少安値傾向ですが、小売価格は、前年並み。
いくら	北海道	減	高い	k12,000~10,000	入荷減、価格は高値。
紅葉子	アメリカ・ロシア・北海道	並	並	k4,300~2,200~1,300	原料は、高値傾向で、消費の低迷、供給過剰等、前年並みで推移。
冷ボタ海老	ロシア	少	高い	k5,000~3,000	入荷減で特に大型サイズが少ない。
冷南蛮海老	ロシア	減	高い	k2,500~1,900~1,800	入荷減、大サイズが少ない。(4L~3L)
冷帆立(玉冷)	オホーツク、野付、標津	少	高い	k5,000~2,500	入荷減、大サイズ(J~L)は、品薄。(M~7S多い)
冷タマガニ	ロシア・アラスカ	減	高い	k6,500~4,500	ロシア産は入荷減、価格高値で推移。
冷ズリガニ	ロシア・カナダ	減	高い	k3,000~2,500	今後のアラスカ産減枠を受けて高値で推移。
船凍いか	函館・小木	並	高い	k900~750	前年同様に少なく、高値傾向で推移している。
刺身サーモン	ノルウェー・チリ	減	並	k3,000~2,000~1200	チリ産の減産。しかし消費が悪く供給過剰の為、一部安値の商品があり。

平成29年度 [加工食品の概況]

担当：(株)キョクイチ 水産2部 次長 千葉貞彦

全般的に、前年より入荷量は減少していますが、一部商品の値上げ、全体を通しては、ほぼ前年と同様で推移しています。

(いか、さんま、秋鮭等の水揚げ不漁により、加工向け原料の不足、特にいか製品に影響が出てきています。)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
味付け数の子	(原料) カナダ・ロシア・大西洋 (製品加工地) 札幌・釧路・赤平	並	並	k 3,000~2,000	入荷、価格ともに前年並み。
飯寿し	紋別・小樽	減	並	k 4,500~2,500	全般に荷動きは横這い、入荷は1割減少。
道産ししゃも	鶴川・広尾・釧路・厚賀	減	高い	k 4,500~3,000	前年より水揚げは、小型中心で大型の入荷が少なく製品価格も高値推移。
かまぼこ	新潟・小樽	並	並		入荷、価格共に前年並み。

平成29年度 [野菜の概況]

関東主体に順調な出回りを見せていた青果物は9月以降の長雨等で、出荷減少が見られました。 10月に入り、台風の被害が各主産地に影響。

それに付け加え 11月下旬から全国的な寒波の影響から、野菜全般に生育遅れが見られます。 今後の気象にも影響される環境にあります。

野菜概況担当 丸果旭川青果卸売市場 蔬菜部 高橋部長 (蔬菜部直通48-3234・3235)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概 況
		入荷量	市況		
ピーマン	宮崎県、鹿児島県	並	並	650～600	概ね順調な生育で、中旬から出回り量は本格化
トマト	熊本県	並	並	500	概ね順調な出荷が予想されます
レタス	兵庫県、香川県、静岡県	減	高	550～500	主力産地共に台風害の影響を受け、不安定な出回り予想
きゅうり	千葉県、宮崎県	並	並	700～600	概ね順調な出荷が予想されます
茄子	高知県	やや減	やや高	800～700	作付減少見られ、低温の影響で出荷量増えない見込み
ブロッコリー	群馬県、徳島県	減	高	500～450	主力産地共に台風害の影響を受け、不安定な出回り予想
生椎茸	北海道 (上川・空知・十勝)	並	並	1500～1300	概ね順調な出荷予想 特に沼田 (空知管内) は増量傾向
春 菊	福島県、群馬県	並	高	1500～1300	概ね順調な出荷が予想されます
軟白ミツバ	北海道 (上川管内)	やや増	並	4800～4500	昨年に比べ順調な出荷予想も、労働力不足が懸念される
長 葱	群馬県、千葉県、茨城県	減	高	900～800	主力産地共に台風害の影響を受け、正品率低下予想
土付里芋	千葉県、宮崎県	並	並	550～500	概ね順調な出荷が予想されます
洗い里芋	千葉県、宮崎県	並	並	1,000	
牛 蒡	北海道 (十勝管内)	並	並	300～250	概ね順調な出荷予想 作柄良好で、やや太物が増量
レンコン	茨城県主力 佐賀県	増	やや安	700～600	昨年の不作から今年は平年作と順調な出荷
ゆり根	北海道 (上川・十勝管内)	並	並	900～800	概ね順調な出荷予想 作柄良好で、やや大玉傾向
キャベツ	愛知県、北海道 (上川管内)	並	並	200～150	千葉県産不作も 概ね順調な出荷予想
ハクサイ	茨城県	並	並	150～120	6玉 (2L) サイズ主体 やや小ぶりだが、順調な出荷見込み

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概況
		入荷量	市況		
大 根	千葉県、神奈川県	減	高	200～180	主力産地共に台風害の影響を受け、生育遅れ見られる
玉 葱	北海道 (北見・空知管内)	減	高	100～90	作柄良好で豊作見込みも 収量の下方修正で調整出荷となる
馬鈴薯	北海道 (上川・十勝管内)	増	やや安	120～100	昨年の不作から今年は平年作に戻り、順調な出荷
ほうれん草	群馬県、茨城県	減	高	1200～1000	長雨、日照不足の影響を受け、出回り量は減少見込み
人 参	茨城県、千葉県	並	やや高	180～150	主力産地共に台風害の影響を受け、太物が少ない見通し
えのき	北海道 (上川管内)	並	並	400～300	概ね順調な出荷予想

平成29年度 [果実の概況]

12月はみかん、りんご、イチゴを中心に出荷量も増えてきます。本年は台風21号.22号の影響を各品目少なからず受けている事とみかんについては長雨の影響で製品化率が低下している事から早生種以降品薄状況が続いています。各品目、贈答需要も高まる中、上位等級品では活発な荷動きが見込まれます。本年も年末にかけて、みかん類は品薄で引き合いが強まると予想され、また、りんごについては小玉傾向ながら食味良好で大玉主力に引き合い強く、いちごについては定植遅れから出回量は少ないと思われ、果実全体では入荷量は若干減、価格は前年並みを見込んでいます。

果実概況担当 丸果旭川青果卸売市場 果実部 和田取締役（果実部直通48-3232・3233）

主品目	主力産地	前年対比		市況予想（Kg単価）	概況
		入荷量	市況		
みかん	愛媛・静岡・和歌山	減	高	400～300	年末に向けて出荷量少なく高値予想。
りんご	青森	増	やや安	330～280	小玉傾向ですが、出荷量前年より潤沢な入荷
いちご	栃木・福岡・佐賀・茨城	減	高	2200～1700	天候不順により出荷遅れ。高値傾向
干柿	長野・和歌山・山形	増	並	2000～1500	各品目とも生産量は昨年よりも多く潤沢な出回り。
キウイ	和歌山、愛媛	並	並	500～450	小玉傾向ですが、出荷量前年並みの見通し
バナナ	フィリピン	並	並	300～150	年末にかけ順調な入荷となり、入荷増 単価は前年並み
パイン	フィリピン	並	並	240～200	クリスマス需要に向けて入荷量は平年並み。
グレープフルーツ	フロリダ・イスラエル	減	やや高	330～270	フロリダ産が本格的な出荷となるが、品質は良好。ハリケーンの影響から出荷量減少
オレンジ	オーストラリア	並	並	250～230	オーストラリア産バレンシア中心の販売となるが、品質は良好。価格は前年並み。

平成29年度 [花卉の概況]

本州産切花は9～10月の長雨、曇天の影響から生育がやや遅れ気味、品質が低下している品目も見られます。また、高齢化、人手不足から、需要期に大量に集中出荷することが難しくなっています。カーネーション、バラ、トルコ桔梗等を中心に輸入品を積極的に取り入れ、市況の安定化を図ります。

花卉概況担当 丸果旭川青果卸売市場 花卉部 引地部長 (花卉部直通48-3237)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (1本単価)	概況
		入荷量	市況		
輪菊	愛知、静岡、鹿児島	減	高め	150～80	生育遅れ気味で品薄傾向。需要期に向け市況も上昇。
小菊	沖縄	並	並	55～30	台風の被害も少なく生産は順調。潤沢に入荷の予定。
カーネーション	愛知、コロンビア	微減	並	100～70	国内産は長雨の影響で減少傾向。輸入品は前年並みで推移。
バラ	愛知、愛媛、エクアドル	並	並	250～100	人気の赤系を中心に需要高まる。市況は昨年並み。
百合類	宮崎、鹿児島、韓国	並	並	500～250	入荷量は前年並み。市況も前年並みで推移。
トルコ桔梗	静岡、福岡、台湾	並	やや安い	250～120	国内産は天候不順から品質低下。台湾産が安定入荷の見込み。
若松	茨城	減	高め	170～60	入荷量は減少傾向。1～2割高を予想。
千両	茨城	減	高め	600～3000	生産量減っており品薄感強い。市況1～2割高を予想。
シクラメン	旭川、伊達、札幌	減	並	1000～500	前年に引き続き生産量減少。消費低迷から弱含み。
ポインセチア	帯広、札幌	減	並	700～400	道内産地からの入荷。入荷減少傾向だが市況は昨年並み。
シンビジウム	静岡、秋田	減	やや安い	3500～1500	志向の変化から引き合い弱い。市況やや安め。

各 位

旭川卸売市場協議会

丸果旭川青果卸売市場株式会社

旭一旭川地方卸売市場株式会社

株式会社 一印 旭川魚卸売市場

年末年始日程並びに平成30年祝祭日等日程

記

29年	12月6日(水)	休業	臨時休市
	23日(土)	〃	臨時開市
	31日(日)	休業	大晦日

30年	1月1日(月)	休業	元旦
	2日(火)	〃	正月
	3日(水)	〃	〃
	4日(木)	〃	〃
	5日(金)	営業	初セリ
	8日(月)	休業	成人の日
	17日(水)	〃	臨時休市
	24日(水)	〃	臨時休市
	31日(水)	〃	臨時休市
	2月7日(水)	休業	臨時休市
	12日(月)	〃	振替休日
	21日(水)	〃	臨時休市
	28日(水)	〃	臨時休市
	3月7日(水)	休業	臨時休市
	14日(水)	〃	臨時休市
	21日(水)	〃	春分の日
	28日(水)	〃	臨時休市
	4月4日(水)	休業	臨時休市
	11日(水)	〃	臨時休市
	18日(水)	〃	臨時休市
	30日(月)	〃	振替休日
	5月3日(木)	休業	臨時開市
	4日(金)	休業	みどりの日
	5日(土)	営業	こどもの日
	9日(水)	休業	臨時休市
	16日(水)	休業	臨時休市
	23日(水)	休業	臨時休市
	30日(水)	休業	臨時休市

	6月6日(水)	休業	臨時休市
	13日(水)	〃	臨時休市
	20日(水)	〃	臨時休市
	27日(水)	〃	臨時休市
	7月4日(水)	休業	臨時休市
	16日(月)	〃	海の日
	25日(水)	〃	臨時休市
	8月11日(土)	営業	臨時開市
	14日(火)	休業	お盆
	15日(水)	〃	〃
	16日(木)	〃	〃
	22日(水)	〃	臨時休市
	29日(水)	〃	臨時休市
	9月5日(水)	休業	臨時休市
	12日(水)	休業	臨時休市
	17日(月)	〃	敬老の日
	24日(月)	〃	振替休日
	10月3日(水)	休業	臨時休市
	8日(月)	〃	体育の日
	17日(水)	〃	臨時休市
	24日(水)	〃	臨時休市
	11月3日(土)	休業	文化の日
	7日(水)	〃	臨時休市
	14日(水)	〃	臨時休市
	23日(金)	〃	勤労感謝の日
	12月5日(水)	休業	臨時休市
	24日(月)	営業	臨時開市
	30日(日)	営業	臨時開市

31年 1月 5日(土) 営業 初セリ

1月 (19日)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5日初旬 17・24・31日臨時休市

2月 (20日)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

7・21・28日臨時休市

3月 (23日)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

7・14・28日臨時休市

4月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

4・11・18日臨時休市

5月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

* 3日は臨時開市
9・16・23・30日臨時休市

6月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6・13・20・27日臨時休市

7月 (23日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4・25日臨時休市

8月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

14・15・16日お盆休み、* 11日は臨時開市
22・29日臨時休市

9月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5・12日臨時休市

10月 (23日)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

3・17・24日臨時休市

11月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7・14日臨時休市

12月 (25日)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

5日臨時休市 * 24・30日は臨時開市

平成30年営業日数
262日 (前年 266日)